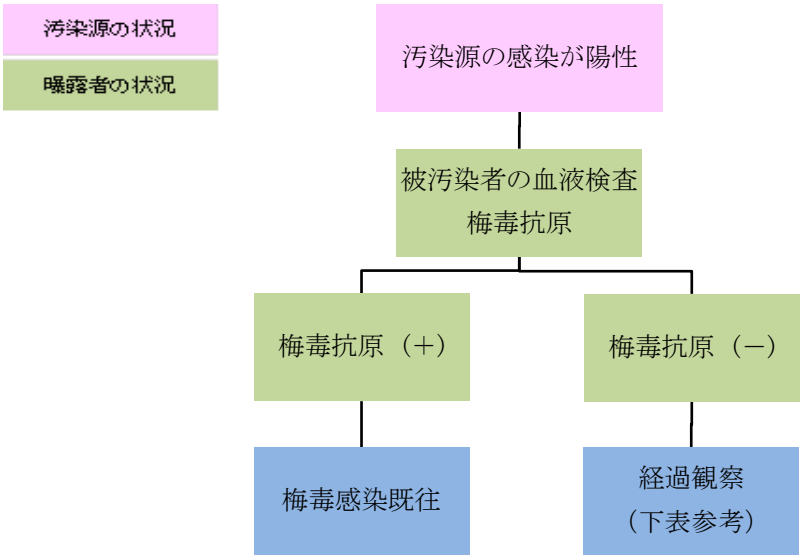
文書改訂履歴

版数	改訂頁	改訂内容	作成日 作成者	承認日 承認者
1	―	新規発行	2022.6.1 小美野　勝	2022.6.1 長原　光

F-15：梅毒対応フローチャート



経過観察　定期検査の間隔

	0	0.5	1	2	3	4	5	6	//	12	（月）
血液検査　RPR 検査	＊	＊		＊				＊			
TPHA 検査			＊					＊		＊	

※陽性が確認されたら治療（経口ペニシリン薬を 7～10 日間投与）

脂質抗原で検出（STS）（非特異的反応）	TP 抗原で検出 抗体検出法（特異的反応）		考えられる病態・原因	対応
RPR	TPHA	FTA-ABS		
＋	＋		梅毒(再感染を含む) 梅毒治癒後の抗体陽性者 他のスピロヘータ感染症	各定量検査の実施（治療開始、間隔をおいて再検査）
＋	－	＋	初期の梅毒	再検査(他の検査法を含む) TP 抗体 IgM(－)なら治療の必要はない
		－	生化学的偽陽性	
－	＋	＋	治療後、非常に古い梅毒	
		－	TPHA の偽陽性	
－	－		非梅毒 ごく初期の梅毒 初期梅毒治療後	感染が否定できない臨床所見がある場合は再検査

※FTA-ABS は必要に応じて実施

臨床産婦人科 55.1.2001/感染症の診断・治療のガイドライン　日本医師会編ほか. 参照